

令和4年産ときわにんにく販売報告会



ときわにんにく部会（対馬伸吾部会長）は7月12日、常盤支店で令和4年産ときわにんにく販売報告会を開きました。生産者や市場関係者ら約40人が出席し、販売金額2億9700万円（前年比91%）になったことを報告しました。

ハウス、露地、加工用を合わせた総出荷数量は251ト（同比116%）で、1kg当たりの平均単価は1183円（同比79%）となりました。



挨拶をする対馬部会長

令和4年産りんご精算報告会



7月20日、管内4か所で令和4年産りんご精算報告会を開き、JA全体の販売額が150億4980万円（前年比96.1%）となったことを報告しました。

4年産の集荷数量は、8月の大雨による冠水被害等により減少となったものの、着果量が確保され肥大が良好だったことから、少なかった前年産を上回る291万7500箱（前年比112.7%）となりました。



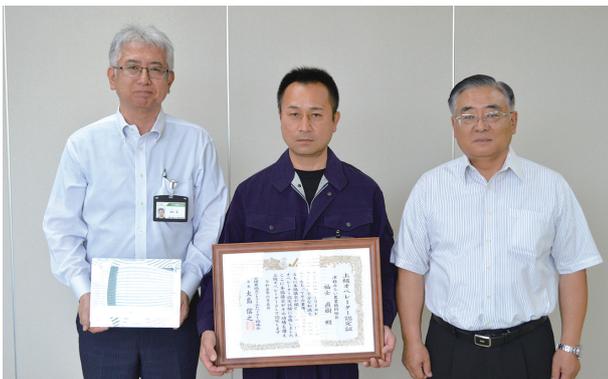
挨拶をする工藤俊博組合長

職員が上級オペレーターに認定



全国農協カントリーエレベーター協議会が、1月20日に開いた「2022年度上級オペレーター認定試験」に、北米穀センターの福士直樹さんが合格しました。青森県の認定者は今回が初となります。

上級オペレーターは、同協議会が定める条件を満たした職員で、JA組合長から推薦を受けて試験に合格したオペレーター。8月2日には、福士さんがJA本店を訪れ、工藤俊博組合長らに認定の報告をしました。



上級オペレーターに認定された福士さん（中央）

青年部ポリシーブック改訂



青年部は7月10日、ポリシーブック改訂部会第一回会議を開き、各地区の青年部員約20人が出席しました。

ポリシーブックとは、営農や地域活動をするうえでの問題点や課題を整理し、解決策を検討し取りまとめたもの。全国のJA青年組織が取り組んでおり、当JA青年部は平成29年3月に作成しました。

部員らは、現状の課題などを共有し整理。今後も会議を重ね、新しいポリシーブックの作成に取り組めます。



課題を共有する部員